

微笑庵便り 2019年2月号

私のモノづくりの出発点、桐塑人形（桐塑人形）ですが、ここで、いろいろな技術を学びました。まずは桐塑人形

これは、初めて作った桐塑人形 “町娘” です。

顔や手は桐塑、桐の木のおが屑を正麩糊で練った粘土のような可塑性の素材で作ります。胡粉を何回か塗り重ねてなめらかな肌を作ります。胡粉自体は真っ白ですが、最後の上塗りでは黄色とベンガラ（赤色顔料）を加え、肌色を作ります。ほんの少し加えるだけでも赤はとても強く、肌の色合いが全く変わってしまいます。

髪は線書き、一本一本描いていきます。線が交差すると美しくないなので、注意しながら、一本一本の間を埋めていくような感じで描きます。特に生え際はかつらのようにならないよう注意して。基本的な技法は木目込み、桐塑で作ったボディーに布をはめ込んでいく技法です。



この2点は上の町娘とほぼ同じ技法桐塑で顔、手を作り、胡粉を塗り髪は線描き、木目込みです。座っているのが舞妓、立っているのは年増です。それぞれに着物の色、柄、顔の表情などの感じが違います。



命名 こじぞうさん